

No.

2023 年度 理 科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	生物	単位数	2	週時間数	4	年次・コース・組	3年一般コース理系
使用教科書 副教材等	生物(数研出版) スクエア最新図説生物(第一学習社)						

① 学習の到達目標

生命現象と物質の働き、生殖と発生の仕組みや器官形成、生物の環境応答、生体と環境および生物の進化と系統を学習し、生物や生物現象に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育成する。

② 評価の観点、方法

原則として、定期テスト80点、平常点20点 の100点法で評価する。
定期テストにおいては授業の学習内容の理解度を主に評価する。
定期試験前の課題などの提出では、おもに関心・意欲、判断力、表現力を評価する。
出席状況、授業への取り組み等により、関心・意欲・態度、また思考力・判断力も評価する。

③ 担当者から

2年次「生物」を履修したことを前提として授業を行う。
大学(理系の学部)で学ぶための基礎学力、また、探究学習に必要な幅広い生物学的知識を身につけてもらうための授業である。
「生物基礎」よりも広い分野を扱い、化学的・数的処理能力を必要とする。

※ 前期反省

--

※ 年間反省

--

※ 次年度に向けて

--

④ 学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業時数
4	第5章 動物の反応と行動	(ニューロンとその興奮刺激の受容) (情報の統合) 刺激への反応 動物の行動	・動物が外界の刺激を受容し、神経系を介してそれに反応する仕組みと、動物の行動について理解する ◎基本的な用語と事象が理解されているか(発問・小テスト) ◎グラフや図を読み取り解析することができるか・計算問題を解くことができる(課題テスト・定期テスト) ◎基本的な実験の操作ができるか(実験レポート・机間巡視)	前期中間Ⅰまで 予定 20 20
5	第6章 植物の環境応答	植物の反応 成長の調節 <中間試験Ⅰ> 花芽形成と発芽の調節	・植物が植物ホルモンや光受容体の働きで環境変化に反応する仕組みを理解する。 ◎基本的な用語と事象が理解されているか(発問・小テスト) ◎グラフや図を読み取り解析することができるか・計算問題を解くことができる(課題テスト・定期テスト) ◎基本的な実験の操作ができるか(実験レポート・机間巡視)	実施 0 前期中間Ⅱまで
6	第7章 生物群集と生態系	個体群 個体群内の個体間の関係 異種個体間の関係 <中間試験Ⅱ>	・個体群とその変動について理解する。 ・生態系における物質生産とエネルギー効率及び、生物多様性について理解させる。 ◎基本的な用語と事象が理解されているか(発問・小テスト) ◎グラフや図を読み取り解析することができるか・計算問題を解くことができる(課題テスト・定期テスト) ◎基本的な実験の操作ができるか(実験レポート・机間巡視)	予定 16 36 実施 0
7・8	第8章 生命の起源と進化	生物群集 生態系における物質生産 生態系と生物多様性 生命の起源 生物の変遷 進化のしくみ	・生命の起源や生物が進化してきた道筋を、進化の仕組みと合わせて理解する	前期期末まで
9	第9章 生物の系統	生物の分類と系統 原核生物 原生生物 植物 動物菌類 <前期・期末試験>	・生物はその系統に基づいて分類できることを理解する ◎基本的な用語と事象が理解されているか(発問・小テスト) ◎グラフや図を読み取り解析することができるか・計算問題を解くことができる(課題テスト・定期テスト) ◎基本的な実験の操作ができるか(実験レポート・机間巡視)	予定 24 60 実施 0
10				後期中間まで
11				予定 60 実施 0
12				
1				年度末
2・3				予定 60 実施 0